



～2017年度大和エリア年間テーマ～ 「産地の心、商品の物語を、地域に伝えよう」

いつ起こるかわからない災害だから



8月2日（水）イオンモール大和店で「みんなの消費生活展」が開かれ、大和市生協運営協議会のブースに大和エリア経営会議も参加しました。昨年に引き続き「防災」がテーマで、当日の未明に地震があったこともあり、来場者は出展された商品やパネルを熱心にみていました。（CM）

オリジナルの「非常用持ち出し袋兼防災ずきん」

バスタオルに自分が必要な衣類などを縫いつけたり、安全ピンで留めておき、首に結ぶための紐も着けておきます。

二つ折りにすれば、いざという時に防災ずきんの代わりに也成了り、一時の着替えに困りません。

小袋を付けてメガネや日頃の薬など、家族それぞれが必要な物を入れておくと安心につながりそうです。



ローリングストック



非常食は長く保存できるけれど、気が付くと「消費期限が過ぎていた！保管場所を忘れた！」とい

うことがおこりがち。少し多めに購入した食品や日用品を古いものから順に使い、減った分だけ補充しておくということを繰り返すことで失敗を少なくすることもできます。それにプラスして災害発生時に特に必要な物を備えておくと良いそうです。

大和地区くらぶ にこにこキッチン

夏休み中の8月1日（火）、大和市文化創造拠点シリウスにて「親子ふれあい遊び・リトミック」を行いました。さぼねっと講師の“ゆうこ先生”のリードで、音楽に合わせて踊ったりして、8組の親子が楽しく時間を過ごしました。

ハンカチを飛ばしたりしっぽにしたり、新聞紙でひっぱりっこしたり、最後は新聞紙を丸めたボールを作ってから、パネルシアターで数字の歌を歌いました。

地区くらぶは3名の組合員が月一回集まることで成り立ちます。ご近所の方とくらぶを始めませんか。（EM）



メンバーのお気に入り Vol.76

私のお気に入りは「パルシステムオリジナルレシピ本」です。



今日のごはんどうしようかなあ…と、アイデアが出てこない時にパッと開くと、簡単・スピーディーに作れるレシピがたくさん載っているので、とても便利です♪ 特に私が愛読しているのは、「農家生まれのレシピ」です。野菜をおいしく食べるためのアドバイスや写真も載っていて、生産者の心のこもったとても温かい本となっています。野菜を使ったおやつレシピもあるんですよ！オリジナルレシピ本には、他に「おやつレシピ」や「離乳食レシピ」などあります。カタログには載っていない月もありますが、ウェブで詳細をみる事ができますので、ぜひご覧ください！（SY）

秋冬の企画のお知らせ

- 10月26日（木）LPA 「知って納得！医療保障」
 - 12月16日（土）予定 三浦半島で野菜の収穫
- 詳細は今後のweekly どりーむぺいじをご覧ください